

自宅外通学申請届

(通学形態変更届)

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿

奨学生・予約採用候補者→学校 →自宅外通学事務処理センター

私は、下記のとおり自宅外通学を申請します。
なお、確認書で確認し、同意した内容から、通学形態変更に伴う給付月額及び第一種奨学金貸与月額の変更について、
確認書並びに日本学生支援機構諸規程に定める取扱いに従うことを誓約します。
第一種奨学金の貸与月額については、諸規程に基づき現在の月額から増額又は減額された額(複数あるときは機構の定める額)に変更されることがあることに同意し、併給調整に伴う月額変更により、既に振り込まれた金額が調整された金額で精算できない場合は、諸規程の定めに基づき、第一種学資貸与金として取り扱うことに同意します。

【記入・提出にあたっての注意】

- ・枠内をもれなく正確に記入し、学校に提出してください。記入内容をもとに承認可否の審査を行います。
・申請には「奨学生番号」または予約採用における「採用候補者決定通知登録番号」のいずれかが必要です。
・在学採用申込中である場合など、いずれも持たない場合は申請できません。
・賃貸借契約書等、自宅外通学の証明書類の添付が必要です。「対象区分・必要証明書類確認チャート」を参照し、必要な証明書類をホチキス留めしてください。なお申請後の返却はできませんので、証明書類はコピーの添付を推奨します。

Table with 2 columns: Field Name (学校への提出日, 生年月日, 学籍番号, フリガナ, 氏名(自署)), Value (西暦 20 年 月 日, 西暦 年 月 日, フリガナ, 氏名(自署))

Main application form with multiple sections: 学校名, 学部・学科, 奨学生番号, 採用候補者決定通知登録番号, 自宅外通学要件, 自宅外通学申請住所, 賃貸借契約期間, 家賃・寮費の発生年月日, 自宅外通学申請住所, 生計維持者, キャンパス所在地, 自宅外要件.

(※1)学校への提出日が未記入の場合、自宅外通学事務処理センター(機構)への書類到着日を提出日として扱います。
(※2)給付奨学金の支給始期年月より前から承認されることはありません。
(※3)実際の家賃支払日ではありません。(例:契約期間の開始日である2026年4月1日分から発生する家賃を初期費用で前払している場合でも、2026年4月1日と記入。)
(※4)機構では適時、要件該当の妥当性を調査しています。十分に確認のうえ選択してください。
(※5)卒業との関連で実家からの通学が困難な事情を詳細に記入してください。「別紙参照」と記入のうえ、事情を記した別紙を添付しても構いません。なお学校の入寮義務がある場合は「入寮義務あり」、独立生計として認められている場合は機構に届出済みの生計維持者①に自身の情報を記入のうえ「独立生計」と記入してください。

上記記載のとおり相違ないことを証明します。

(学校の証明) 20 年 月 日

学校名

証明者(※)

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

Table for school confirmation with checkboxes for A-G and a 'はい' checkbox.

Table for phone number and school number with fields for phone number (059-231-9061) and school number (10500900).

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報(のうら保証管理に必要な情報)が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止のために照会があった場合には、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

記入例（自宅外通学申請届）

赤枠内すべての記入が必要です。
提出前に記入漏れや誤記入がないか確認のうえ、
記入後は速やかに学校へ提出してください。

⑥自宅外通学申請住所への入居日

・自宅外通学申請住所への実際の入居日を記入してください。よって⑦より前の日付が入ることはありません。

⑦賃貸借契約期間

・添付する賃貸借契約書等に記載された契約期間を記入してください。
・契約期間外の居住証明書類と併せて提出する場合、元々の契約期間の開始日～契約更新後の契約期間の終了日を記入してください。
・終了日が明確に定められていない場合は右側余白に「無期限」や「卒業（退学）まで」等契約内容に準じた文言を記入してください。

⑧家賃・寮費の発生年月日

・基本的には契約期間の開始日と一致します。
・フリーレント等の特約で契約開始日より一定期間経過後から家賃が発生し始めている場合、実際に家賃が発生し始めた年月日を記入してください。
・賃貸物件に同居していた生計維持者の転居等により、住所変更を伴わず自宅外要件を満たした場合、その要件を満たした日を記入してください。この場合は⑥も同一の日付としてください。

⑨自宅外通学申請住所

・添付する賃貸借契約書等に記載された住所をそのまま記入してください。

[給付様式35]

自宅外通学申請届

(通学形態変更届)

③奨学生番号

・奨学生番号が付与されている場合は必ず記入してください。
・奨学生番号を記入できる場合、④⑤の記入は不要です。

②氏名

・必ず奨学生本人が記入してください。
・機構に登録した氏名表記で記入してください。(アルファベット表記不可)

給付

奨学生・予約採用候補者→学校
→自宅外通学事務処理センター

学校名	日本学生支援機構大学		学年	1年
学部・学科 (課程・研究科)	〇〇学部 〇〇学科			
③ 奨学生番号	④ 採用候補者決定通知登録番号 (奨学生番号付与前に限る)		⑤ 進学届入力日	
5 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0	どちらかき ←記入→ 9 9 9 9 9 9 9 9 - 1 0 9 - 9 9 9 9 9		4 月 16 日	
自宅外通学要件 及び提出書類の確認	「対象区分・必要証明書類確認チャート」を確認し、以下の「対象区分」に該当することを確認 該当する「対象区分」に☑を記入し、証明書類を添付⇒ <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input checked="" type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> G			
自宅外通学申請住所 への入居日	西暦 20 26 年 3 月 25 日	- 入居月(または採用月)から学校への提出日まで3カ月以内入居日の属する月から自宅外通学を承認 (※2) - 入居月(または採用月)から学校への提出日まで3カ月を経過→学校への提出日の属する月から自宅外通学を承認		
賃貸借契約期間	西暦 20 26 年 3 月 25 日	～ 西暦 20 28 年 3 月 24 日		
家賃・寮費の発生年月日 (※3)	西暦 20 26 年 3 月 25 日	いずれかに該当する場合は☑を記入→ <input type="checkbox"/> フリーレント等により、左に記載の年月日から家賃・寮費が発生 <input type="checkbox"/> 住所変更はないが、左に記載の年月日から自宅外要件に該当		
自宅外通学申請住所	〒 153 - 8503 東京都目黒区駒場4-5-29 駒場マンション 3階 301号			
機構に届出済みの 生計維持者① (現住所)	生計維持者① (続柄: 父)	〒 543 - 0001	大阪府大阪市天王寺区上本町8-3-13	
氏名:	育英 太郎			
機構に届出済みの 生計維持者② (現住所)	生計維持者② (続柄: 母)	〒 543 - 0001	大阪府大阪市天王寺区上本町8-3-13	
氏名:	育英 花子			
キャンパス所在地 (通学校舎)	〒 162 - 8412 東京都新宿区市谷本村町 10-7 JASSO 市ヶ谷			
自宅外要件 (※4)	下記①～④の当てはまる要件に☑を記入してください。 ①～④に当てはまらず、やむを得ない特別な事情で申請する場合は、⑤の詳細欄にその事情を記入してください。			当てはまる
①実家から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上 (目安)				<input checked="" type="checkbox"/>
②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上 (目安)				<input type="checkbox"/>
③実家から大学等までの通学費が月1万円以上 (目安)				<input type="checkbox"/>
④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であり、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間あたり1本以下 (目安)				<input type="checkbox"/>
⑤その他やむを得ない特別な事情 (※5)	詳細:			

①学校への提出日

・奨学生が学校へ提出した日を記入してください。

④採用候補者決定通知登録番号 及び

⑤進学届入力日

・予約採用で進学届を入力後かつ奨学生番号の付与前に提出する場合、④⑤ともに記入してください。
・進学前に進学予定の学校を通じて提出する場合は④のみを記入してください。

⑩機構に届出済みの生計維持者 (現住所)

・下記のi～iiiのうち、最も直近で機構に届け出た生計維持者を記入してください。
i. 進学届 (当年度の予約採用者が該当)
ii. スカラネット (当年度の在学採用者が該当)
iii. 在籍報告 (昨年度以前の採用者が該当)
・機構に届出済みの生計維持者と一致しない場合は不備になります。
・生計維持者の住所は自宅外通学申請時点の現住所を記入してください。ここは機構に届出済みの住所と相違していても構いません。(海外住所可)
・独立生計として認められている場合、奨学生本人の情報を記入してください。(続柄: 本人)
・機構に登録した氏名表記で記入してください。(アルファベット表記不可)

⑪キャンパス (通学校舎) 所在地

・主として通学しているキャンパス (校舎) の住所を記入してください。

上記記載のとおり相違ないことを証明します。

(学校の証明) 20 26 年 4 月 22 日

学校名 日本学生支援機構大学
証明者 (※) 支援 次郎

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

学校確認欄 (☑を記入)	・上部枠内の必要事項がもれなく記入されていることを確認済 <input checked="" type="checkbox"/> はい	
	・以下の「対象区分」に該当し、必要書類が添付されていることを確認済	
	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input checked="" type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> G	
電話番号 (担当者名)	学校番号	区分
00 - 0000 - 0000	9 9 9 9 9 9 9 9	
(支援 三郎)		

青枠内は提出を受けた学校の記入・証明箇所です。